

令和6年度
かながわの遺跡展
第3回講演会



縄文時代中期の社会・文化交流 —ひとの動きモノの動き—



東京国立博物館 井出 浩正

講演会の内容

はじめに

縄文時代とは、縄文時代中期とは

1. お墓に供えられた縄文土器 — 秦野市鶴巻上ノ窪遺跡の浅鉢
2. 重なり合う2つのいろり — 埋甕炉で共伴する異系統土器
3. 獣面把手と中期の社会交流 — 広域ネットワークのあけぼのおわりに

縄文時代の社会・文化交流

2

縄文時代とはいつ？

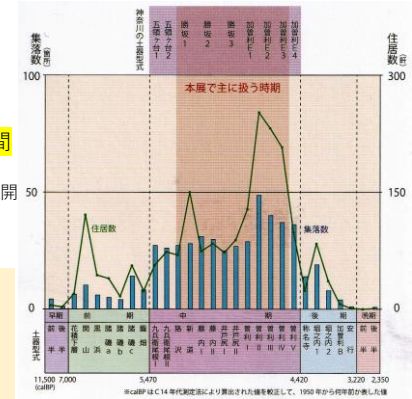
【時間軸】

約13000年前から2400年前までの約1万年間

※近年、炭素年代測定法(AMS法)により縄文時代の開始年代が古く遡っている

【時期区分】※東京国立博物館の場合

- 草創期（そうそうぎ）：13000～9000年前
 - 早期（そうぎ）：9000～6000年前
 - 前期（ぜんぎ）：6000～5000年前
 - 中期（ちゅうぎ）：5000～4000年前
 - 後期（こうぎ）：4000～3000年前
 - 晩期（ばんぎ）：3000～2400年前
- ※縄文土器の形や文様で分けられた、便宜上のもの

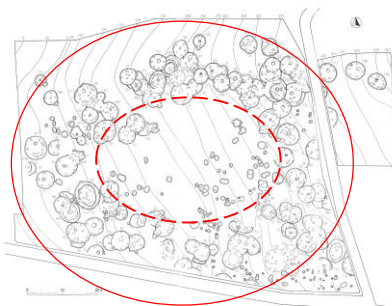


集落跡と遺跡数の変遷(ハケ岳西南麓)
(神奈川県教育委員会 2024『令和16年度かながわの遺跡展 縄文ムラの繁栄』)

3

縄文時代中期とは

- ① 拠点的な環状集落の形成
- ② モニュメントの造営と儀礼の展開
- ③ 社会の区分原理の明瞭化
- ④ 植物の半栽培利用か
⇒縄文農耕？
- ⑤ 土器：立体的な造形、器形の分化
⇒浅鉢形土器や有孔鍔付土器など
- ⑥ 立像土偶、ポーズ土偶の発達



環状集落の例
長野県塩尻市 埴原遺跡
(塩尻市教育委員会1986年『埴原遺跡』
(長野県塩尻市埴原遺跡発掘調査概報))

4



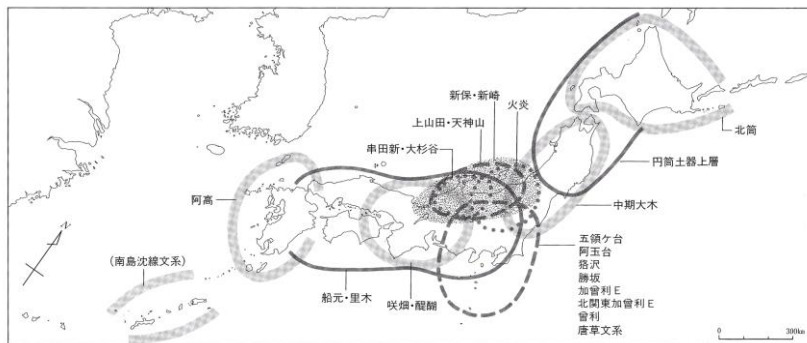
火焔型土器
佐新潟県長岡市馬高
東京国立博物館



国宝土偶 縄文のビーナス
長野県茅野市 棚畑遺跡
茅野市

5

縄文時代中期の土器のひろがり



縄文土器様式圏(中期)
(小林達雄・小川忠博 1989『縄文土器大観 4』(後期・晩期・続縄文)小学館)

6

1. お墓に供えられた縄文土器
—秦野市鶴巻上ノ窪遺跡の浅鉢



浅鉢
神奈川県厚木市 恩名沖原遺跡

7

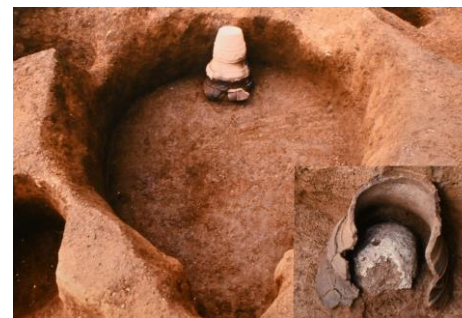
福島県いわき市 大畑貝塚



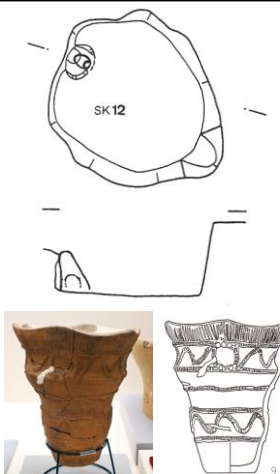
第4号人骨出土状況
福島県いわき市 大畑貝塚 B地点e2
(いわき市教育委員会 1975『大畑貝塚調査報告』)

8

神奈川県秦野市 東開戸遺跡

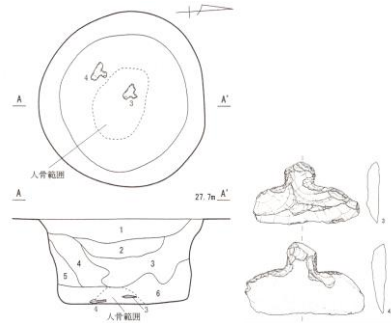


お墓から出土した縄文土器と人骨(頭蓋骨)
神奈川県秦野市 東開戸遺跡 SK12
(神奈川県教育委員会2024『令和6年度かながわの遺跡展 縄文ムラの繁栄』)



9

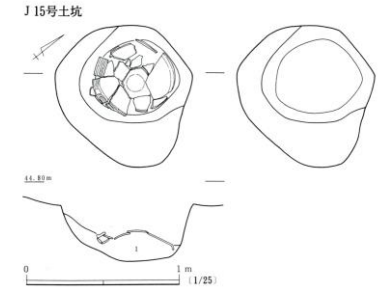
神奈川県小田原市 天神山遺跡



お墓から出土した石匙と人骨
 神奈川県小田原市 天神山遺跡 J9号土坑
 (神奈川県教育委員会2024『令和6年度かながわの遺跡展 縄文ムラの繁栄』)

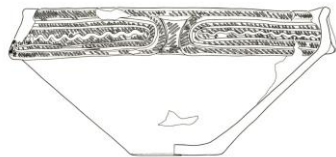
10

神奈川県秦野市 鶴巻上ノ窪遺跡



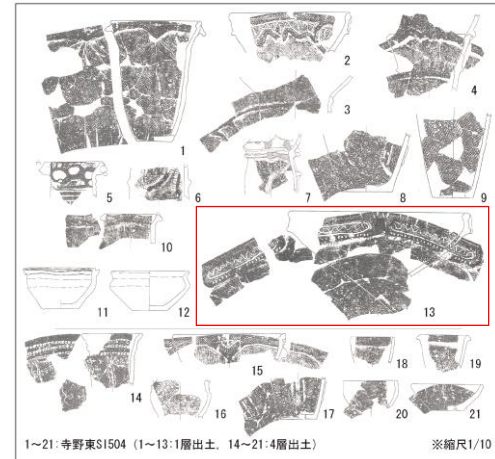
J15号土坑
 神奈川県秦野市 鶴巻上ノ窪遺跡
 (財団法人かながわ考古学財団 1998『不弓引遺跡(No.21・22)・鶴巻大楯遺跡(No.23)・鶴巻上ノ窪遺跡(No.25上)・北矢名南蛇久保遺跡(No.25下)・北矢名矢野遺跡(No.26)』(かながわ考古学財団調査報告32))

11



J15号土坑出土品
 神奈川県秦野市 鶴巻上ノ窪遺跡

12

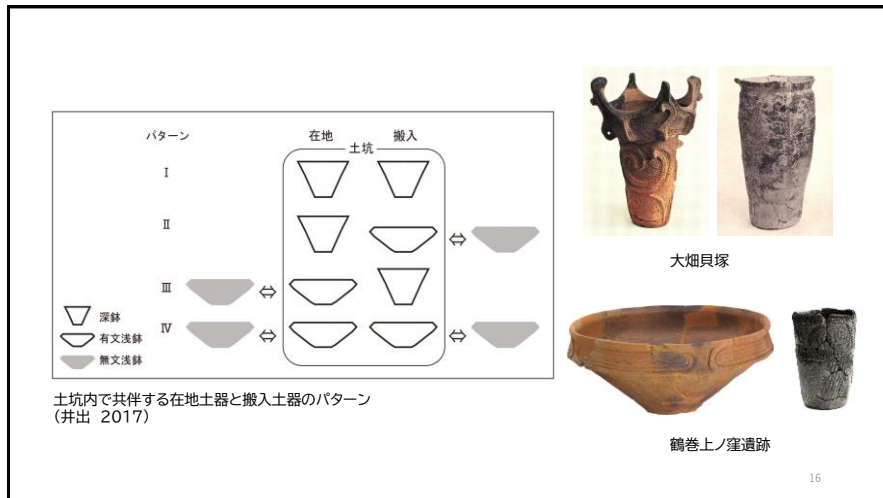
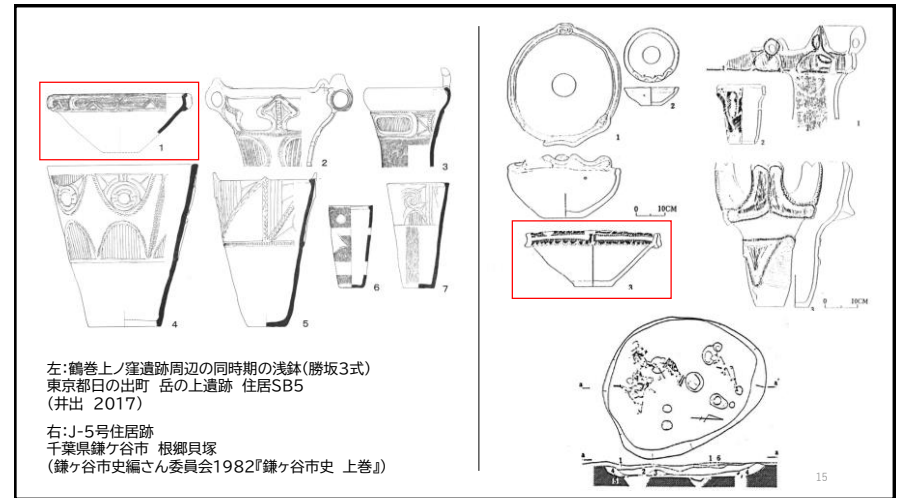
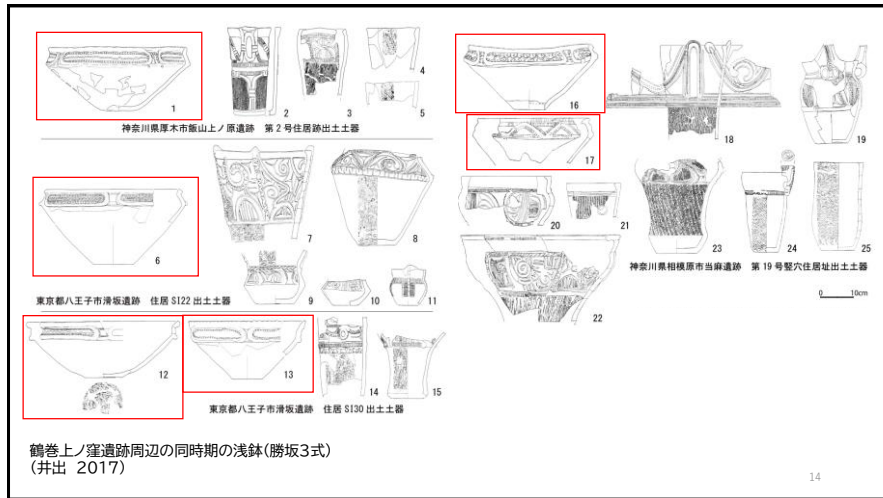


阿玉台IV式土器に伴う浅鉢
 栃木県小山市 寺野東遺跡 SI504
 (井出 2013)

1~21:寺野東SI504 (1~13:1層出土、14~21:4層出土)

※縮尺1/10

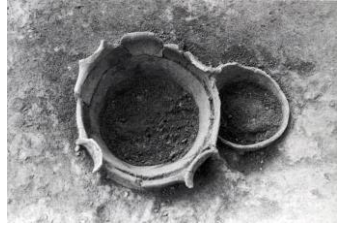
13



埼玉県ふじみ野市 亀居遺跡



1号住居跡
埼玉県ふじみ野市(旧入間郡大井町) 亀居遺跡
(埼玉県大井町遺跡調査会 1998『亀居遺跡』)



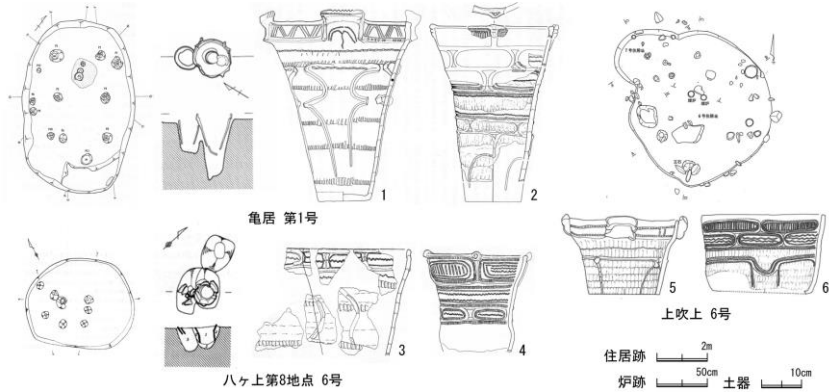
18



1号住居跡の炉体土器(左:阿玉台式土器 右:勝坂式土器)
埼玉県ふじみ野市(旧入間郡大井町) 亀居遺跡

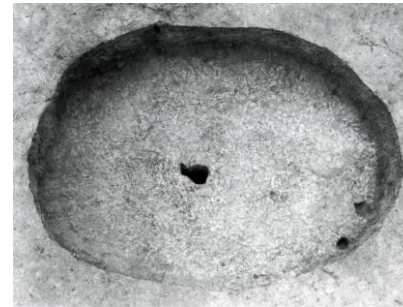


19



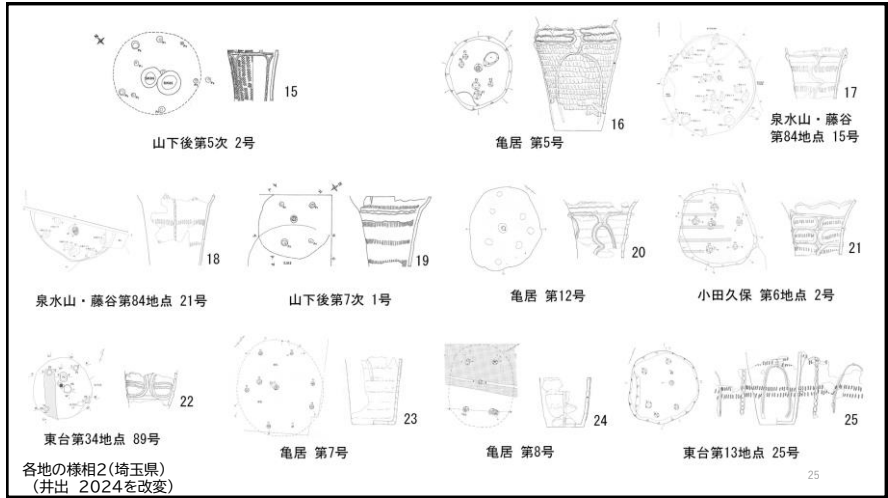
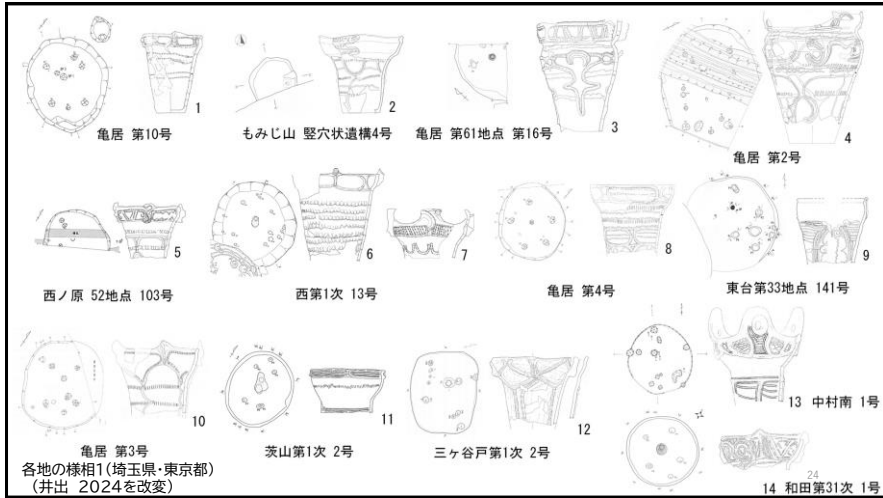
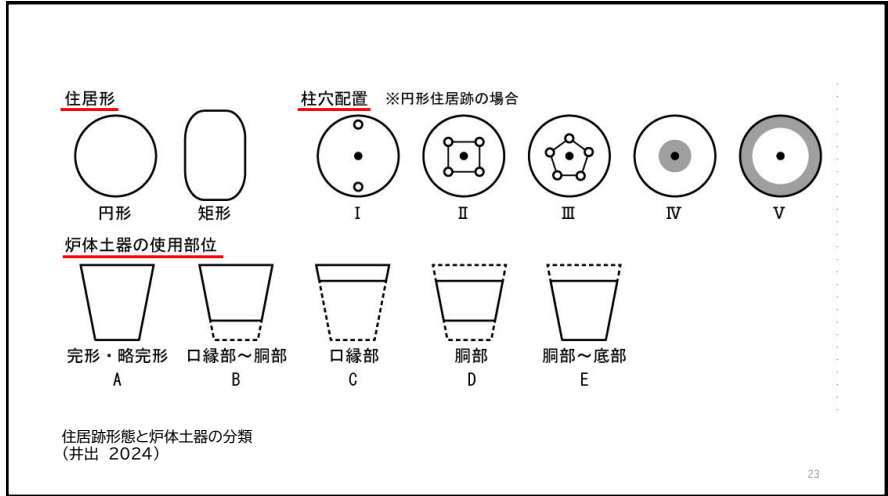
住居跡内で共存する異系統の炉体土器
(井出 2024)

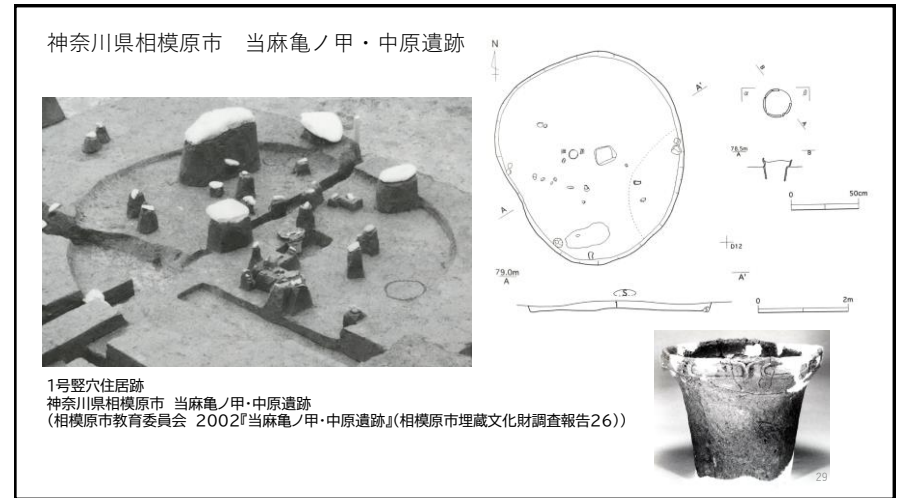
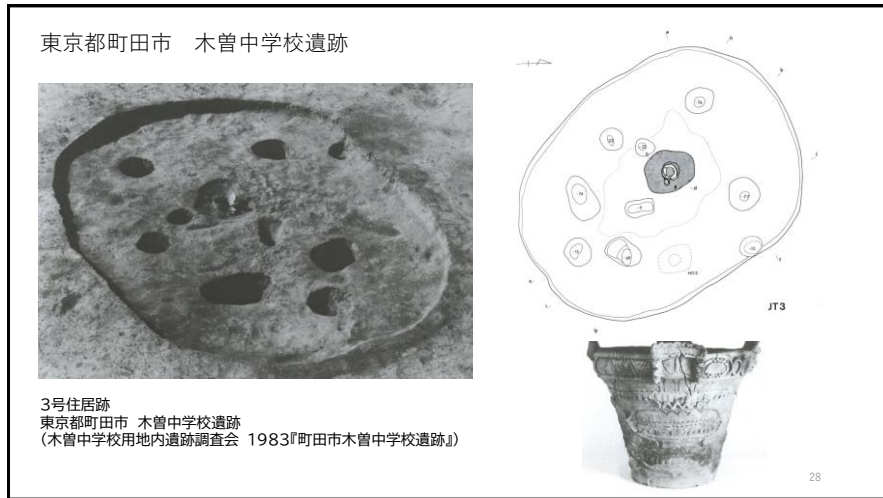
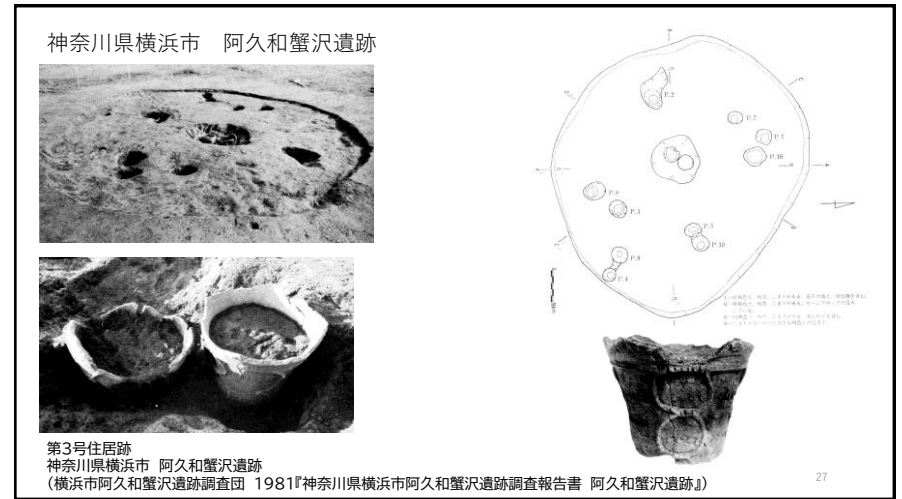
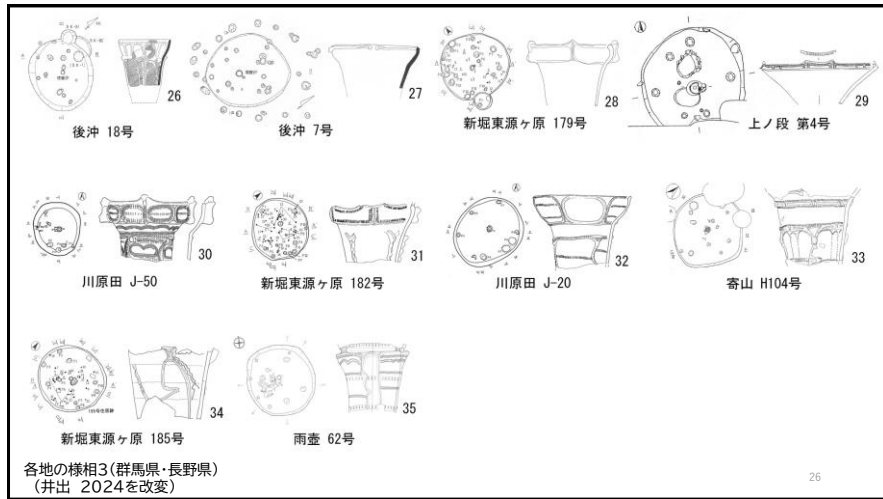
20



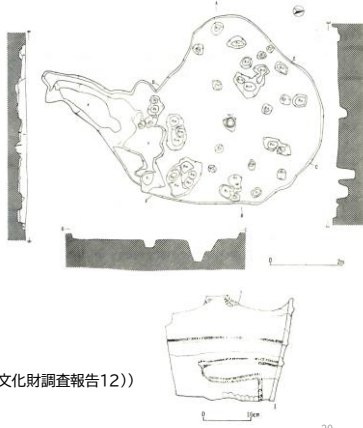
阿玉台式期の一般的な住居跡(関東地方東部)
千葉県柏市 中山新田 I 遺跡
(財団法人千葉県文化財センター 1986『常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書IV』)

21





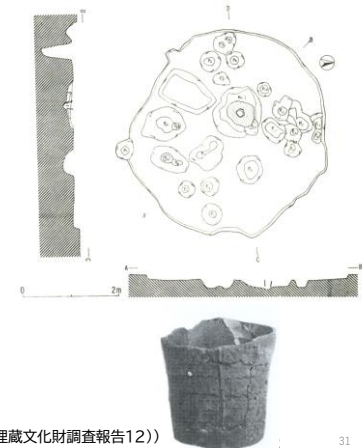
神奈川県相模原市 当麻遺跡



第48号竪穴住居跡
神奈川県相模原市 当麻遺跡
(神奈川県教育委員会 1977『当麻遺跡・上依知遺跡』(神奈川県埋蔵文化財調査報告12))

30

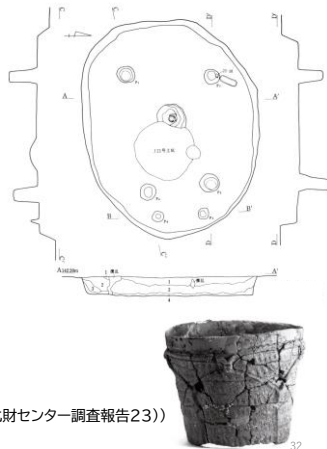
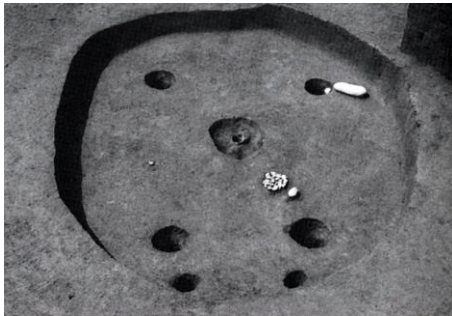
神奈川県相模原市 当麻遺跡



第33号竪穴住居跡
神奈川県相模原市 当麻遺跡
(神奈川県教育委員会 1977『当麻遺跡・上依知遺跡』(神奈川県埋蔵文化財調査報告12))

31

神奈川県相模原市 川尻遺跡



J3号住居跡
神奈川県相模原市(旧津久井郡城山町) 川尻遺跡
(神奈川県立埋蔵文化財センター 1992『川尻遺跡』(神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告23))

32

埋甕炉の変遷 (イメージ)

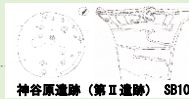
五領ヶ台Ⅱ式



山下後遺跡第5次 2号住居跡

後沖遺跡 18号住居跡

勝坂式 (貉沢式)



神谷原遺跡 (第Ⅱ遺跡) 8B10

集団どうしの社会的交流・結合



亀居遺跡 1号住居跡

阿玉台Ⅰa式

なし

阿玉台Ⅰb式

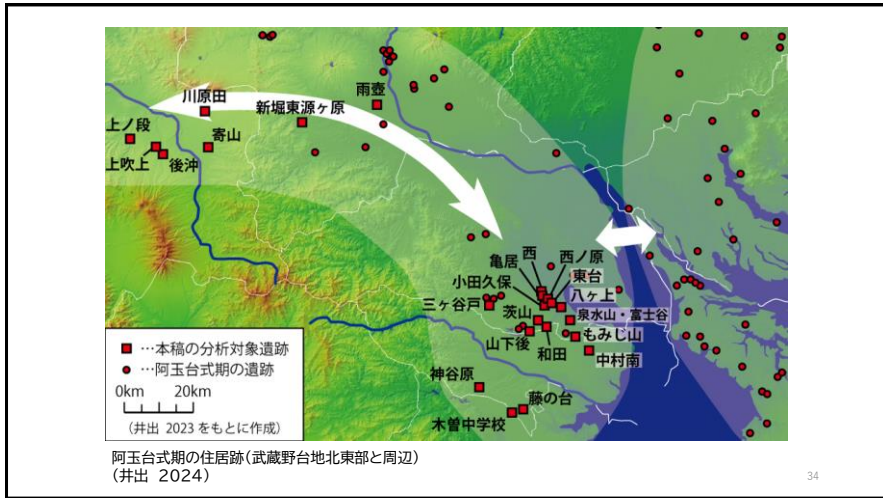


木曾中学校遺跡 3号住居跡

(東関東)
なし

勝坂式 (新道式)

33



3. 獣面把手と中期の社会交流 —広域ネットワークのあけぼの

フクロウ形装飾付き土器
神奈川県相模原市 大地開戸遺跡

35

黒曜石原石・大形剥片・石核
神奈川県平塚市 原口遺跡
(本展覧会の横浜会場にて撮影)

原口遺跡からは、こぶし大ほどの原石などがまとめて出土しました。分析の結果、神津島産の黒曜石であることが分かっていきます。

36

黒曜石原石
静岡県河津町 見高段間遺跡
(本展覧会の横浜会場にて撮影)

神津島産黒曜石の荷揚げ地
(神奈川県教育委員会 2024『令和6年度かながわの遺跡展 縄文ムラの繁栄』)

37



神奈川県埋蔵文化財センターの土偶・獣面把手の展示
(神奈川県埋蔵文化財センターにて撮影) ※2025年1月17日



獣面把手
神奈川県平塚市 原口遺跡
(神奈川県埋蔵文化財センターにて撮影) ※2025年1月17日

38

富山県氷見市 朝日貝塚



獣面把手
富山県氷見市 朝日貝塚
縄文時代前期末～中期初頭
(氷見市史編さん委員会 2002『氷見市史 7』(資料編5 考古))

39

石川県能登町 真脇遺跡



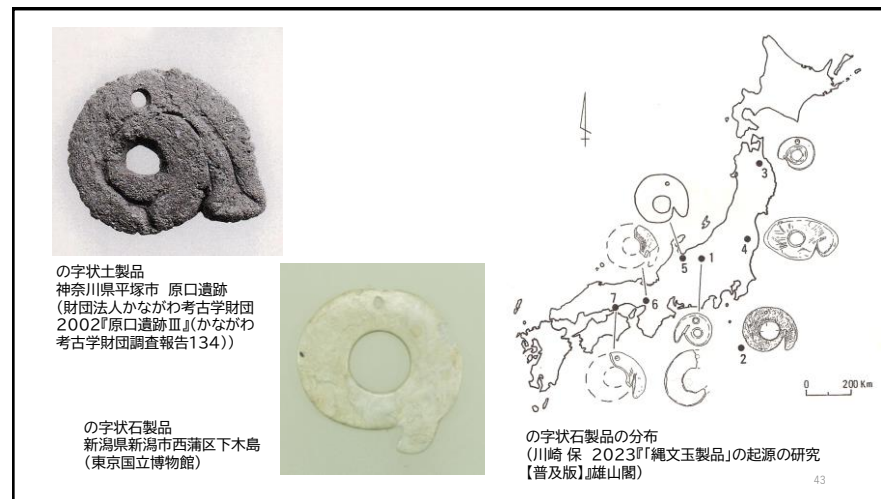
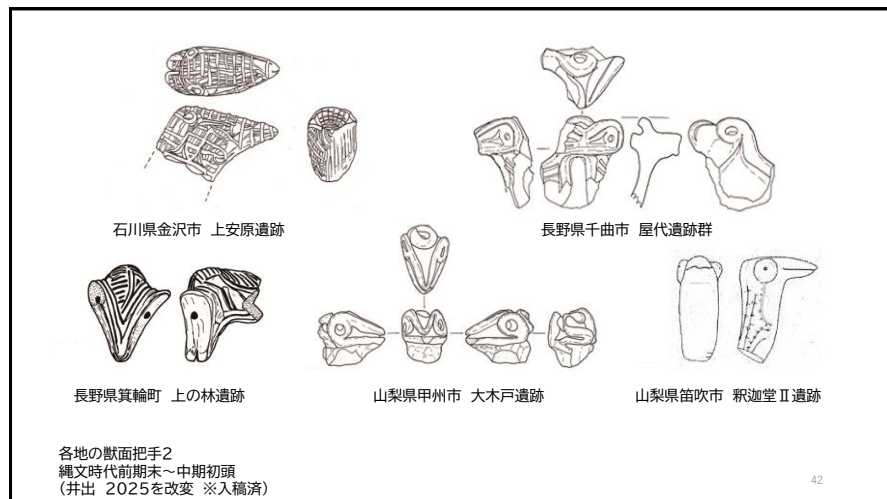
獣面把手(左)と獣面把手付土器(右) (「鳥さん土器」)
石川県鳳珠郡能登町 真脇遺跡
縄文時代前期末～中期初頭
(左:能登町教育委員会 1986『石川県能登町 真脇遺跡』)
(右:東京国立博物館 2018『特別展縄文—1万年の美の鼓動』)

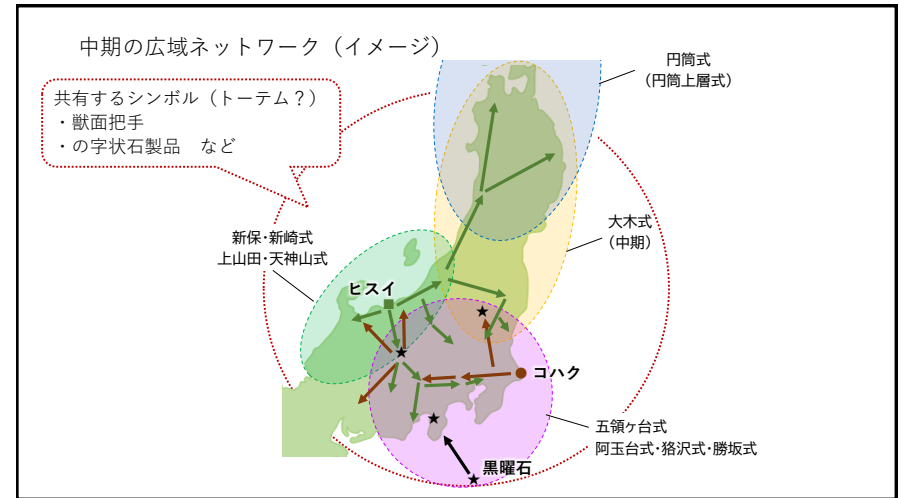
40



各地の獣面把手1
縄文時代前期末～中期初頭
(并出 2025を改変 ※入稿済)

41





縄文時代の社会交流の背景

ひとの動き

ひとを通じた交流 (移動・婚姻など)
⇒ひととモノと一緒に動くこともあり
⇒自分たちの伝統を重んじつつ、他からもたらされたひとやモノ、情報を受け入れる柔軟性

(譽田亜紀子 2017『知られざる縄文ライフ』誠文堂新光社)

48

縄文時代の社会交流の背景

モノの動き

モノを通じた交流 (交換・贈与など)
⇒直接的なやりとり、間接的なやりとりなど
⇒縄文人がさまざまなネットワークを使い分けて他集団と積極的にコミュニケーションをとっていた

クマの毛皮でどうだか!

目のアケセサウーと
塩に干し貝だぞく!

(譽田亜紀子 2017『知られざる縄文ライフ』誠文堂新光社)

49